

<AIPPI セミナー開催報告>

AIPPI・JAPAN 欧州特許セミナー【対面式】

欧州における特許戦略：EPO・UPCにおけるテクノロジーや法制度に関する最近の動向と日本の出願人に及ぼし得る影響

1) 開催日時：2023年7月27日（木）13：30～17：00

2) 講演者：Reddie & Grose LLP

Nick Reeve 氏（欧州・英国弁理士／UPC 訴訟代理人）

Simon Lud 氏（欧州・ドイツ弁理士／UPC 訴訟代理人）

3) 内容：

<主なトピックス>

①EPO（欧州特許庁）における最近の動向

【講演者】 Nick Reeve 氏

- ・特許保護対象と進歩性
- ・コンピューター利用発明に関する Comvik アプローチによる判断について
- ・特許適格性を高めるためのアドバイス
- ・FinTech と Blockchain 技術の発明について
- ・G1/19：シミュレーション発明（数学的方法の例）の特許適格性に関する審決
- ・人工知能（AI）を数学的方法の例としてみた場合に、機械学習の特許性を有するクレームは、技術的課題を解決でき、その応用方法が示されている必要がある
- ・Runway Configuration 審決の紹介
- ・AIに関する創薬の出願件数の統計紹介
- ・記載要件に関する事例（T161/18 Equivalent Aortic Pressure, T119/19 Neuronal Plasticity, T2147/16 Email Spam Filter）
- ・蓋然性（Plausibility）についての考え方と事例紹介
- ・G2/21 蓋然性および出願日後に提出された証拠に関する審決
- ・開示の十分性（EPC 第 83 条）及び非自明性（EPC 第 56 条）



Nick Reeve 氏

②Unitary Patent（単一特許）制度及び UPC（統一特許裁判所）について

【講演者】 Simon Lud 氏

- ・単一特許制度についてまず知っておくべきこと
統一特許裁判所が 2023 年 6 月 1 日より訴訟受付開始
訴訟案件の動向紹介
単一特許制度の第一印象
- ・単一特許に関する実務指針
単一特許のメリット及びデメリット
単一特許の費用、出願戦略の提言、及び実務指針
- ・統一特許裁判所への戦略的対応におけるポイント
統一特許裁判所の管轄法域及び管轄外法域
統一特許裁判所の所在地及び構成
特許侵害訴訟及び特許取消訴訟の書面手続
統一特許裁判所の特徴
諸費用、戦略的対応におけるポイント



Simon Lud 氏

本セミナーは、企業知財部や特許事務所等において欧州特許実務に携わっておられる方々にとって、非常に有意義な内容であった。

以上